

高知県環境活動支援センターえこらぼ

令和5年度の取り組み

令和5年4月～令和6年3月

高知県環境活動支援センターえこらぼについて

高知県環境活動支援センターは、県民一人ひとりの環境への関心を高めて環境にやさしいライフスタイルの輪を広げ、地球温暖化対策が進んだ脱炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の構築を目指すために平成 18 年 4 月に設置されました。以来、県民の環境活動や環境学習の推進拠点として、環境情報の発信や環境学習講師の派遣、環境イベントの開催、生物多様性の保全の普及活動などの事業を行っています。

も く じ

1 環境活動に関する情報発信	1
1) ホームページによる環境活動情報の提供	2
2) ホームページ以外の情報提供	2
2 地域や教育現場における環境学習の支援	3
1) 環境学習講師の紹介・派遣	3
2) 第12回 高知「環境絵日記」	4
3) こどもエコクラブ事業	10
3 生物多様性地域戦略推進事業	13
1) 生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座の開催	13
2) 生物多様性こうち戦略推進リーダー活動現場体験ツアーの実施	13
3) 生物多様性こうち戦略推進リーダースキルアップ講座の実施	14
4 環境イベントの開催	15
1) 「環境活動見本市 in 黒潮町 一幡多のエコ大集合」の開催	15
2) 自然観察会、ワークショップ等の環境学習会の開催	17
5 生物多様性の意義の普及・啓発	18
1) ふるさとのいのちをつなぐ 生物多様性こうちプラン大賞	18
2) 観光ガイドのための生物多様性講座	21
3) 普及啓発キット（パネル・資料等）の貸出し	21
6 環境活動団体の支援	22
1) 助成金情報の提供	22
7 その他、環境保全や環境学習、県民・環境団体の環境活動の支援に資する業務 ...	23
1) 環境学習プログラムリストの作成・活用	23
2) 環境にやさしい行動への変容を促すリーフレットの作成と配布	25
8 PR活動	25
1) PR ツールの活用	25
2) 報道機関への情報提供	25
9 センターの運営	26
1) センターの開館日及び開館時間	26
2) 運営委員会の組織・運営	26
3) 高知県との定期連絡会の開催	26

1 環境活動に関する情報発信

■高知県環境活動支援センターえこらぼ ホームページ

高知県環境活動支援センター
えこらぼ

管理運営団体：特定非営利活動法人 環境の杜こうち
〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター3F
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205

home about mail f @

- えこらぼについて
- イベント情報
- お知らせ・募集情報
- 学校や地域での環境学習をサポート
講師紹介・派遣
- 体験プログラムや学習会に参加しよう
高知県の環境学習施設一覧
- 活動を知ろう・なかまを癒やそう
環境活動団体紹介
- 生物多様性を守る取り組み
- 高知「環境絵日記」
- 子どもエコクラブ高知県事務局
- メールマガジン
「えこらぼだより」
- 助成金情報
- リンク集
- お問い合わせ
- サイトマップ



トピックス

◆えこらぼの所在地・ご利用時間◆
高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター「ソーレ」3F
(NPO法人 環境の杜こうち)
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205
E-mail：center@ecolabo-kochi.jp
◇ご利用時間◇
月曜日 10:00～17:00 火～金曜日 10:00～18:00
※土曜日、日曜日、祝日、第2水曜日休み
環境活動や環境学習に関するご相談など、お気軽にご利用ください。

イベント新着 お知らせ新着 助成金新着 ←見たい情報タグをクリックください

2024/03/19【イベント情報】 キッズフォレスト (4/15,4/17)	詳細
2024/03/19【イベント情報】 横倉山生きもの調べ「スマイルの仲間たち」(4/13)	詳細
2024/03/19【イベント情報】 日本ネイチャージャーナルクラブ・フィールドトリップ at 牧野公園 (3/27)	詳細
2024/03/19【イベント情報】 親子タケノコ掘り体験 (3/22)	詳細



環境関連のイベント・ニュースを配信
メールマガジン
えこらぼだより

高知県環境活動支援センター
えこらぼ

管理運営団体
特定非営利活動法人 環境の杜こうち
〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター3F
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205

home about mail f @

Copyright © ecolabo All Rights Reserved.

1) ホームページによる環境活動情報の提供

① 環境活動団体及び環境学習講師のデータベース（検索機能付）

県内で環境活動に取り組む団体や環境学習講師として活動する方々を登録し、データベースを公開しています。登録内容の確認・更新作業を定期的に行い、新しく登録した団体や講師に関する情報も随時掲載して、広く県民に情報を提供しています。

[登録]	環境活動団体：123 団体	環境学習講師：141 名（非公開5名を含む）
------	---------------	------------------------

② 環境学習に係る施設、各種資料等

県内で自然体験や環境学習プログラムを提供している施設に関する情報をホームページで公開し、環境学習に関する相談等への対応においても積極的に紹介して、利用を促しています。また、国や各種機関等が環境問題に関する情報を提供するウェブサイトへのリンク集を作成し、県民が最新の情報にアクセスできるよう支援しています。

③ 環境関係のイベント情報や助成金情報の提供

高知県内の環境イベントや助成金等の情報を独自に収集するとともに、環境活動団体等から寄せられる情報も加えて、メールマガジン「えこらぼだより」と連動して毎週火曜日に情報を更新しています。

[掲載件数]	イベント情報：216 件	募集・お知らせ：26 件
	助成金情報：58 件	

2) ホームページ以外の情報提供

① メールマガジン「えこらぼだより」の配信

高知県内で実施される環境に関するイベント情報や助成金情報などを、毎週火曜日に配信しています。配信登録は随時ホームページから行うことができます。

[配信頻度]	毎週火曜日	[登録者数]	1,051 名
[主な配信先]	環境に関心のある県民、県内の環境活動団体、県内の小・中・高等学校、県・市町村職員、県内マスコミ各社 など		

② 学校への直接的な情報提供

学校や教育委員会等に対し、えこらぼの紹介・利用案内資料を送付するとともに、環境学習講師の紹介・派遣や高知「環境絵日記」等の学校を対象とする各種事業に関する情報提供を随時行いました。

③ SNS を活用した情報の発信

センターが実施する各種事業の告知・報告等に SNS を積極的に活用するため、Instagram と X のアカウントを開設し、Facebook と合わせて情報発信を行いました。

[情報発信回数とフォロワー数]					
・ Facebook	70 回	776 名	・ Instagram	79 回	127 名
・ X	21 回	6 名			

2 地域や教育現場における環境学習の支援

1) 環境学習講師の紹介・派遣

学校や放課後児童クラブ、企業・団体及び一般の県民の方々等からの相談に随時対応し、適切な環境学習講師の紹介、提案、派遣日時や内容等の調整といったコーディネートを行っています。また、相談者が講師の謝金、旅費等を負担しえない場合は、講師に活動費を支給して、県民の環境学習の場、機会づくりを支援しています。

令和5年度は、総合的な学習における講師紹介・派遣に加え、公民館や地域活動、地元観光ガイドなど大人を対象にした環境学習の場も増加しました。

[講師紹介・派遣件数]	81件	[紹介・派遣した講師]	130名
[環境学習受講者数]	2,221人		



6/16 高知市立初月小学校
ダンゴムシとあそぼう
講師：高尾 和伸 さん



8/10 土佐市子どもの居場所づくり実行委員会
おもしろ科学教室 人力発電
講師：八田 章光 さん



9/29 高知市立旭小学校
校庭の樹木しらべ
講師：井上 靖彦 さん



1/22 土佐清水ジオパーク推進協議会
自然ガイドのための野鳥観察学習会
講師：森 富美男 さん

2) 第12回 高知「環境絵日記」



高知県内の小学生を対象に、子どもたちが夏休みに環境について考え、行動し、その経験を絵日記に表現することで、環境への意識や理解を育むことを目的とした「環境絵日記コンテスト」を実施しています。

令和5年度は、作品テーマを「未来につなぐ！わたしの推し♡」とし、県内の小学校に通う1～6年生を対象に作品を募集。86の小学校から、3,816作品の応募がありました。

作品テーマ	未来につなぐ！わたしの推し♡
募集期間	令和5年6月19日～9月7日
応募資格	高知県内の小学校に通う1～6年生 自筆・未発表の作品
応募方法	在学の小学校へ提出（学校ごとに取りまとめて応募）
協力	横浜市資源リサイクル事業協同組合

① 令和5年度応募数

応募作品数	県内小学校児童数※1	応募率	参加学校数	県内小学校数※2	参加率	参加市町村数	県内市町村数	参加率
3,816	30,103	12.7%	86	226	38.1%	22	34	64.7%

※1 高知県「令和5年度学校基本調査」による。 ※2「令和5年度高知県学校数一覧表」（高知県教育委員会事務局）による。

② 選考委員会の開催

有識者5名からなる選考委員会を開催し、募集要項および作品テーマの決定、表彰対象作品の選考を行いました。

	開催日	内容
第1回選考委員会	令和5年 5月23日	募集要項、作品テーマの決定等
第2回選考委員会	令和5年 10月25日	二次選考および優秀作品選考会

③ 作品選考会の実施

令和5年10月21日に、生物多様性こうち戦略推進リーダー、高知県地球温暖化防止活動推進員、こどもエコクラブサポーター等からなるボランティア選考員による一次選考会を行い、二次選考の対象となる99作品を選考しました。10月25日には、選考委員会による二次選考および優秀作品選考会を行い、環境絵日記大賞、優秀特別賞、部門賞、学校賞、学校特別賞の選出をしました。

■個人の部

- 環境絵日記大賞 全作品から最も優れた作品1点
- 優秀特別賞 低学年の部(1~3年生)、高学年の部(4~6年生)より10点
- 部門賞 脱炭素社会づくり賞、循環型社会づくり賞、自然共生社会づくり賞 各1点
- のいち動物公園長賞 1点
- 入賞(えこらぼ賞) 全作品の中から84作品

■団体の部

- 学校賞 入賞作品の多い学校から低学年、高学年それぞれ1校ずつ
- 学校特別賞 特に熱心な取り組みをした学校を3校

④ 選考結果の発表

選考結果の発表は、令和5年10月30日にホームページで行いました。



■環境絵日記大賞

南国市立大篠小学校

6年 吉岡 知隼

■優秀特別賞 10名

高知学園高知小学校

1年 山崎 悠生

香美市立楠目小学校

2年 川村 真侑希

香南市立野市小学校

3年 小松 ちひろ

高知市立泉野小学校

3年 鎌田 望夢

津野町立葉山小学校

3年 市川 柚寧

高知市立第四小学校

4年 松木 かなえ

高知市立三里小学校

4年 岡林 裕人

高知市立春野西小学校

4年 西村 鈴夏

土佐町立土佐町小学校

5年 谷 春尚

大月町立大月小学校

6年 鍋島 文乃

■脱炭素社会づくり賞

高知市立義務教育学校土佐山学舎 2年 徳久 朔

■循環型社会づくり賞

香美市立大宮小学校 3年 小松 そら

■自然共生社会づくり賞

南国市立大篠小学校 4年 須藤 土温

■のいち動物公園長賞

香美市立楠目小学校 5年 岡本 詩音

■団体の部

- ・学校賞低学年の部 高知学園高知小学校
- ・学校賞高学年の部 高知学園高知小学校
- ・学校特別賞 3校 香美市立香長小学校
高知市立義務教育学校土佐山学舎
四万十町立七里小学校

令和5年度高知「環境絵日記」講評

—未来につなぐれ！わたしの推し♡—

12年目を迎えた高知「環境絵日記」

高知「環境絵日記」に参加して下さった児童のみなさん、保護者のみなさん、教員のみなさん、みなさんに支えられて高知「環境絵日記」は今年12年目を迎え、新しいステージにジャンプアップすることができました。この場を借りまして、お礼申し上げます。ありがとうございました。

高知県内86の小学校から応募総数3,816作品

今年の高知「環境絵日記」のテーマは、「未来につなぐれ！わたしの推し♡」でした。児童のみなさんはこのテーマに少し戸惑ったかもしれません。「推し」って何？学校の先生方からはすこし説明しづらいとの声をお聞きしました。選考委員会では、高知県の「しぜん、生きもの、食べもの、くらし」について感じたことや未来のためにできることを、児童のみなさんの気持ちを込めて伝えてもらいたいと考え、このテーマにしました。すこし戸惑うテーマにもかかわらず多くの小学生のみなさんから応募いただき、昨年よりも250作品ぐらい増えました。高知で暮らすみなさんが伝えたいことがこんなにあるんだと、選考委員一同たいへんうれしく思いました。

児童のみなさんが送ってくださった今年の「環境絵日記」は、みなさんが「好き」という気持ちを展開している作品が多く、選考委員も喜んでます。児童のみなさんが大好きな動物や植物、みんなに来てもらいたい川や海が、実にたくさん存在していることを知ることができました。また、高知県にはいろんな人々がいろんな形で環境を守っていることもみなさんの絵日記から推察することができました。ある委員からは本当に自分の気持ちでかいている作品がたくさんあったとの感想もありました。

環境絵日記大賞は「わが家の守り神」

さて、本年度の「環境絵日記」大賞には「わが家の守り神」が選ばれました。鉢植えされたバジルの葉を収穫しようとする中、葉っぱが食べられていた。この葉っぱを食べた犯人は翌日鉢植えに現れたアマガエルかもしれないと疑った。でも、調べてみると、アマガエルはバジルを食べる害虫を食べてくれること知り、もしかしたらあまり好きではなかったアマガエルが私の「守り神」になったという内容です。「守り神」のアマガエルが丁寧に描かれていて、いろんな害虫を見張るようにバジルに乗っかっている。そんな頼もしいアマガエルは輝いて見えて、本当に推して、推して、推しまくりたい存在であることが伝わってきます。バジルをめぐるできごとから自然環境の節理に気づき、環境を大切にしようという思いが伝わってきます。

未来につなぐれ！わたしの推し♡

優秀特別賞や各賞にもたいへんよい作品がありました。鎌田さんが推すおじいさんは他人のごみまで持って帰るほんとうに素敵なおじいさんで、絵に描かれているように輝いていました。鍋島さんが推薦したのはたくましく生きるツバメでしたが、たいへん共感しました。須藤さんが推す用水路に住んでいる生きものを住民のみなさんで守って100年後も生き残ってほしいと感じました。徳久さんが推すとさでん交通の電車はいいことづくめで迫力がありました。大雨でも稼働している小松さんの推しはごみをポイントに、そしておばあちゃんへの感謝に変えてくれる本当に頼もしい存在ですね。その他にもたくさんの推しについての絵日記が送られてきて、毎年のことですが、選考にはたいへん時間がかかりました。今年集まってきた作品はどれも体験したことや学んだことを忠実に表現するだけでなく、みなさんの心が動いたことをしっかりと表現しようとしていることが感じられました。



選考委員を逡巡させた最終選考会

おしくも大賞やその他の賞に選考されなかった作品にも、作者であるみなさんの伝えたいことがたくさん表現されていました。HPにアップされている「えこらぼ賞（入賞）」の作品もぜひご覧ください。きっといろんな「推し」に出会えると思います。またおしくも入賞をのがした作品にも、県民のみなさんに見ていただきたい作品もたくさんありました。これからも、家族みなさんと一緒に身近なエコにチャレンジして、来年もぜひ応募してください。家族みなさんと一緒に身近なエコにチャレンジして、来年もぜひ応募してください

令和5年度高知「環境絵日記」選考委員会

⑤ 表彰式

「環境絵日記大賞」、「優秀特別賞」、「部門賞」、「のいち動物公園長賞」の受賞児童、「学校賞」および「学校特別賞」の受賞校を表彰しました。表彰式は高知県立のいち動物公園内のイベントスペースで行い、家族や先生方の見守る中、受賞児童一人ひとりに表彰状を手渡しました。

開催日	令和5年11月19日（日）11:00～12:00
場 所	高知県立のいち動物公園 どうぶつ科学館1階



⑥ 作品展

表彰式と同時に行う高知県立のいち動物公園での入賞作品展をはじめ、県内の施設やイベント等で作品展を行いました。

日 程	会 場	
7月21日～7月29日	こうち環境博2023 ※令和4年度入賞作品	こうち男女共同参画センター ソーレ
11月3日	大月町産業祭	大月町総合グラウンド
11月11日～11月26日	高知「環境絵日記」入賞作品展	高知県立のいち動物公園 どうぶつ科学館
12月3日	こうちこども未来ビレッジ	高知ちばさんセンター
12月3日	親子で学ぼう！SDGs講演会	窪川四万十会館
12月4日～12月15日	高知「環境絵日記」作品展	サンシャインしまんとハマヤ店
12月10日	佐古地区3世代交流環境イベント	香南市佐古地区下分公民館
12月10日	こうち環境フェア	高知市 弥右衛門ふれあいセンター
1月9日～1月17日	高知「環境絵日記」作品展	サニーアクシス南国店
1月9日～1月22日	高知「環境絵日記」入賞作品展	高知県庁 1階ホール
1月19日～2月1日	高知「環境絵日記」作品展	サニーマート四万十店
2月8日～2月21日	高知「環境絵日記」入賞作品展	オーテピア高知図書館2階
2月19日～3月13日	高知「環境絵日記」作品展	サニーアクシスいの店
3月10日	環境活動見本市 in 黒潮町	土佐西南大規模公園 総合センター



11/11~11/26 高知県立のいち動物公園



3/10 環境活動見本市 in 黒潮町

⑦ こうち「環境絵日記」 in Tシャツアート展



黒潮町で開催された「Tシャツアート展」(令和5年5月2日(火)~5月7日(日)、主催:特定非営利活動法人NPO 砂浜美術館)に、令和4年度の優秀作品を出展し、県民に広く環境絵日記を知ってもらおう機会としました。展示後のTシャツは記念品として受賞児童に贈りました。

また、次回の「Tシャツアート展」(令和6年5月開催)に出展するため、今年度の優秀作品をプリントしたTシャツを制作しました。制作したTシャツは、11月に県立のいち動物公園で実施した入賞作品展の会場で一足先に展示し、PRを行いました。

⑧ 参加賞『高知「環境絵日記」 えこらぼノート』の製作

高知「環境絵日記」の参加賞として自由帳を製作し、全応募児童に贈りました。子どもたちに高知県の自然や環境への関心を高めてもらえるよう、表紙に「高知のめずらしいいきものシリーズ」として、高知県内に生息する希少生物のイラストを配置し、裏表紙にはえこらぼの登録講師の協力を得て、その生物の生態についての解説文を掲載しました。



また、来年度も環境絵日記に応募してもらえるよう、環境絵日記の書き方のヒントや、環境を守るために一人ひとりにできる取り組みを紹介するとともに、『高知「環境絵日記」サポーター』および協力団体の名称を掲載しました。

仕様： B5 版 32 ページ 製作部数：3,900 部

⑨ 高知「環境絵日記」PR 用カレンダーの製作

高知「環境絵日記」の認知度向上と、次年度の参加校拡大につなげるため、今年度の優秀作品を掲載したカレンダーを製作しました。このカレンダーは、令和 6 年度の募集に合わせて、県内の小学校等へ配布します。

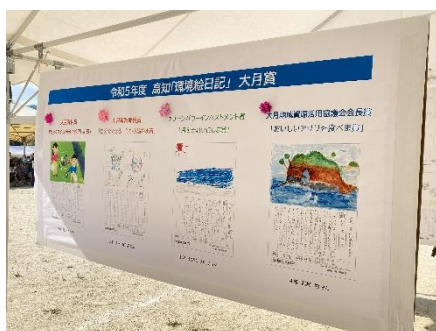
仕様： A4 版 16 ページ 製作部数：800 部



⑩ 地域における環境絵日記の活用

◇ 『高知「環境絵日記」大月賞』

大月町では、平成 30 年度より、町内の小学生が応募した環境絵日記を独自に選考・表彰する『高知「環境絵日記」大月賞』が実施されています（主催：NPO 法人大月地域資源活用協議会）。令和 5 年度は、大月町産業祭で作品展が行われ、えこらぼから作品データの貸与などの協力をしました。



◇南国市・いの町 指定ごみ袋包装紙による普及啓発

南国市といの町では、各市町指定のごみ袋の包装紙に、地域の小学生が描いた環境絵日記の作品を掲載しています。この取り組みは、南国市では平成25年度から、いの町では令和元年度から行われています。「環境絵日記」を通して地域の方々に子どもたちの環境意識を届けることにより、ごみ減量やリサイクルの推進についての普及啓発につながることが期待されます。



⑪ 高知「環境絵日記」サポーターの募集

高知「環境絵日記」の趣旨に賛同する企業や団体を対象に、一次選考会への社員等の参加、自社の施設等での作品展の開催などの協力を行う「環境絵日記サポーター」を募集しています。

協力団体・企業：NPO 砂浜美術館、株式会社サニーマート、株式会社ハマヤ、高知県立のいち動物公園、セルクルデザイン工作室、筒井紙業印刷株式会社、特定非営利活動法人大月地域資源活用協議会、横浜市資源リサイクル事業協同組合

3) こどもエコクラブ事業

高知県事務局および市町村事務局のない区域の事務局として、県内の小中学校や企業・団体等へのこどもエコクラブの紹介および新規登録の勧誘、登録クラブの地域での環境保全活動や環境学習に対する支援を行っています。

高知県内のこどもエコクラブ 登録数：14クラブ メンバー数：213人

① こどもエコクラブ「全国エコ活コンクール」への応募促進

子どもたちが活動で感じたことや気づいたことをまとめて活動をふりかえる、こどもエコクラブ全国事務局実施の「全国エコ活コンクール」壁新聞部門の応募促進と取りまとめをしました。

応募数：4クラブ 4作品

高知県代表には「香美市こどもエコクラブ Happiness (ハピネス)」の作品「Happiness エコクラブ十年 未来へ」が選ばれ、3月24日に東京で開催された「こどもエコクラブ全国フェスティバル」に参加し、他の都道府県代表クラブ等と活動発表を通じて交流しました。



② こどもエコクラブ壁新聞展の開催

令和5年7月21日（金）～7月29日（土）、「こうち環境博 2023」（主催：こうち環境博 2023 実行委員会）の会場で、過去の応募作品 14 枚を展示しました。



③ 「こどもエコ活交流会」の開催

高知県内のこどもエコクラブおよび子どもが主体となり環境活動に取り組んでいるグループを対象としたオンライン交流会を開催しました。

当日は、こどもエコクラブ9クラブに加えて、生物多様性こうちプラン大賞に入賞経験のある「高知商業高校ジビエ部」、「ジンデ池生物研究所」らを含む計 12 グループが参加し、活動発表と質疑応答を行い交流しました。交流会の企画・運営には、香美市こどもエコクラブの中・高校生メンバーが参加し、アイスブレイクやゲームなどを含むプログラムの立案、当日の司会進行などを担当しました。



また、高知県内で環境に配慮した事業活動を行う企業 2 社による発表も行いました。株式会社エスエスは、ショウガ加工の際に生じる廃棄部分を活用した排泄物の臭いを 99.8% 消失させる消臭剤（特許申請中）について、実験をまじえて説明しました。また、株式会社ダイドゥは、排水をしない循環式水洗トイレ「リサイくるん」のしくみ及び SDGs への寄与について紹介しました。発表の後は質疑応答が行われ、有意義な学びの時間となりました。

日 時：令和 6 年 3 月 17 日（日）13:00～15:00

開催方法：ZOOM によるオンライン開催

参加クラブ：香美市こどもエコクラブ（6 クラブ）、高知市立浦戸小学校、仁淀川お宝探偵団、ゆるりクラブ、高知商業高校ジビエ部、高知小津高校生物部、ジンデ池生物研究所

参加企業：株式会社エスエス、株式会社ダイドゥ

参加者：31 名（12 グループ+サポーター等）

④ こどもエコクラブ活動の支援

◇イベント「地球はともだち よってたかって 香美市でエコ！」への協力

香美市こどもエコクラブと香美市が中心となり、香美市内の環境を守る活動や県内の取り組みを紹介する体験型イベントが企画・実施されました。

実施にあたっては、こどもエコクラブ全国事務局の「こどもエコクラブ協働プログラム」を活用し、資金面等での支援を得ました。えこらぼは、実行委員として運営に参加し、全国事務局への「こどもエコクラブ協働プログラム」への申請や広報グッズの借受をサポートするなどの支援を行いました。



- 開催日時 活動紹介・作品展示：令和5年7月28日（金）～29日（土）
メインイベント：令和5年7月30日（日）10:30～15:00
- 場 所 香美市立図書館「かみーる」
- 展示体験型プログラム 香美市内外から10団体が参加
- 参加者数 220名



◇交流サポート

前年度の「こうちこどもエコ活交流会」（令和5年3月19日実施）に参加をした香美市こどもエコクラブが、ジンデ池生物研究所が実施する生物調査に参加し、お互いの活動紹介をする交流の機会をもちました。



3 生物多様性地域戦略推進事業

1) 生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座の開催



「生物多様性こうち戦略」を推進するため、生物多様性の保全や普及、担い手育成、各主体間の連携促進や地域資源の発掘・活用に関する専門性を有する先導的な人材として、「生物多様性こうち戦略推進リーダー」（以下、リーダー）を養成する講座を開催しました。

初めて生物多様性について学ぶ人からある程度知識や活動経験のある人まで幅広い層を対象に、生物多様性の基本的な知識と「こうち戦略」についての知識を得られる内容としました。また、県内どこからでも受講しやすいよう、同じ内容の講座を会場（高知市）とオンラインの2回開催しました。

■登録状況

登録者数：111名 ※うち 令和5年度登録者：20名

◇令和5年度 生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座

日程・会場

① 令和5年7月22日（土）13:30～15:30

こうち男女共同参画センター ソーレ3階 研修室2

② 令和5年7月23日（日）10:00～12:00 ZOOMによるオンライン開催

受講者：15名（会場5名、オンライン10名）

講座内容

- ・生物多様性こうち戦略推進リーダー登録制度の概要
..... 高知県林業振興・環境部 自然共生課
- ・「生物多様性こうち戦略および新しい国家戦略の目指すもの」
..... 高知大学 名誉教授 石川 慎吾 氏
- ・「地域資源の持続的活用と生物多様性」
..... 高知生物多様性ネットワーク 代表 岩瀬 文人 氏

2) 生物多様性こうち戦略推進リーダー活動現場体験ツアーの実施

地域における生物多様性保全や環境教育の担い手となる人材を育てることを目的に、リーダーが活動している現場の体験ツアーを実施しています。

今年度は、無農薬の米づくりを始め、衣食住を手作りする「自産自消」の暮らしを実践している千葉 洋さんの田んぼを訪問し、その田んぼを生息場所とする生き物を調べ、里山の田んぼが持つ生物多様性・生態系サービス機能について学び、交流するツ

アーを企画しました。開催日程は、作業体験ができる時期が望ましいと考え、田仕事の一つ「草取り」の時期に合わせて令和6年6月上旬に設定し、実施内容の調整を行いました。

3) 生物多様性こうち戦略推進リーダースキルアップ講座の実施

リーダー自身の知識や技術の更なる向上と個々の活動団体が抱える課題の解決等をテーマにした講座を企画・実施しました。リーダーのスキルアップを図るとともに、リーダー相互の交流機会を創出することを本講座の目的とし、生物多様性の意義や保全の重要性について伝える力の向上を図る「知識編」と、地域における生物多様性の普及啓発や保全活動を“実践する”力を高める「実践編」を開催しました。

① 知識編

令和5年3月に閣議決定された「生物多様性国家戦略2023-2030」の概要と、「30 by 30 目標」等の生物多様性保全のための取り組みや政策について解説するとともに、OECM と自然共生サイトという新たな仕組みについて、その役割や活用方法を紹介し、地域での活用方法について考える講座を開催しました。

日時：令和6年3月9日（土）14:00～15:30
開催方法：Zoom によるオンライン開催

（会場：こうち男女共同参画センターソーレ3階 研修室2）
受講者：9名（オンライン7名、会場2名）



◇講座内容

- ・ 講義「生物多様性国家戦略の概要と目標～OECM と自然共生サイトについて」
……………講師： 小林 誠 氏（環境省自然環境局自然環境計画課 課長補佐）
- ・ 情報提供「生物多様性こうち戦略の改定について」
……………高知県林業振興・環境部 自然共生課
- ・ 意見交換



② 実践編

環境に適応して様々な形態と生態をもつ鳥類を題材に、生物からみた豊かで多様な自然を感じるため、黒潮町入野の浜で行いました。

意見交換では、様々なバックグラウンドを持つ参加者がそれぞれ異なる視点からの意見を述べることで、他者に新たな気づきを与え、お互いの活動に興味を持つきっかけとなるなど、よい交流の機会となりました。今後のスキルアップ講座の内容として、インタープリテーションや自然体験プログラムなど、“伝える”ための具体的な手法について学びたいとの意見がありました。

日 時：令和 5 年 12 月 16 日（土）9:30～15:30
 場 所：入野の浜・ふるさと総合センター（黒潮町）
 参加者：9 名
 講 師：森 富美男 さん
 話題提供：石川 慎吾 さん、岩瀬 文人 さん



4 環境イベントの開催

1) 「環境活動見本市 in 黒潮町 一幡多のエコ大集合」の開催

高知県西部地域の環境活動団体や環境学習講師の活動を地域に紹介するとともに、学校や生涯学習の場への環境学習講師紹介・派遣の普及を図ることを目的とする、体験型環境学習イベントを開催しました。

日 時：令和 6 年 3 月 10 日（日）10:30～15:00
 会 場：土佐西南大規模公園ふるさと総合センター
 （幡多郡黒潮町入野）
 対象者：こどもを含む家族連れ、こども向けイベントに関心のある県民、学校関係者、生涯学習関係者など
 来場者：361 人
 出展・参加者数：16 団体
 協 力：特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館
 高知県生涯学習支援センター（KOLEC）





えこらぼの登録講師・団体を中心に 16 団体が出展し、体験型環境学習プログラム、自然や環境について学ぶ展示のほか、地域の自然に詳しい方を講師にした会場周辺の自然観察会や、ダンボール巨大迷路などのプログラムを提供しました。出展団体からは、多くの地域の方に活動を知ってもらえてよかった、子どもたちの反応が参考になった等の感想が聞かれました。また、出展者同士の交流の機会にもなりました。

出展者 合計 16 団体

①NPO 団体・環境学習講師等：12

あにめのいろは、うみのこども、特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館、大方ホエールウォッチング、高知県生涯学習支援センター、公益社団法人 高知県森と緑の会、公益財団法人 四万十川財団、しまんと新聞ぱっく高知支部、日本防災植物協会、はーと・らいふ村 工房ポレポレ、BLUE BLUE、NPO 法人環境の杜こうち

②行政・公共施設等：3

四国森林管理局 四万十川森林ふれあい推進センター、四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会、高知県林業振興・環境部 自然共生課

③学校・学生団体等：1

高知大学同好会 いきものや

2) 自然観察会、ワークショップ等の環境学習会の開催

県内各地で、えこらぼの登録団体や環境学習講師による小規模な自然観察会やワークショップ等の環境学習会を開催しました。また、人材や資金の不足等により、単独では環境学習イベント等を主催することが困難な団体や講師に代わり、えこらぼが参加者の募集・受付、当日の運営補助等を行うなどの支援をしました。

① ふしぎに気づく自然観察ノートの書き方

自然の中で、見たり聞いたり拾ったりした事や物を、絵・文字・数字を使って記録する「ネイチャージャーナリング」の手法を体験するワークショップを実施しました。

日時：令和5年8月6日（日）10:00～11:30

場所：土佐和紙工芸村 くらうど

講師：日本ネイチャージャーナルクラブ

小林 絵里子 氏

参加者：親子7組 20名



② バードウォッチング

これまで冬季にカモ類等の水辺の渡り鳥の観察を中心に、行っていた入野松原での野鳥観察会を、春季に林を散策しながらのプログラムに展開して実施しました。

日時：令和6年3月10日（日）10:00～12:00

場所：黒潮町 土佐西南大規模公園大方地区 入野松原
（環境活動見本市 in 黒潮町との同時開催）

受講者：11名

講師：森 富美男 氏（高知野鳥の会）



③ 入野松原ツリーウォッチング

松だけではない入野松原の林の魅力を知ってもらおうと、樹木の特徴や見分け方、昔から地域で使われてきた利用方法などについてクイズシートを使いながら学ぶ観察会を実施しました。

日時：令和6年3月10日（日）13:00～14:00

場所：黒潮町 土佐西南大規模公園大方地区 入野松原
（環境活動見本市 in 黒潮町との同時開催）

受講者：5名

講師：田城 光子 氏



5 生物多様性の意義の普及・啓発

1) ふるさとのいのちをつなぐ 生物多様性こうちプラン大賞



高知県内における生物多様性保全活動の主流化に向けて、県内のさまざまな地域における「生物多様性こうち戦略」の行動計画に沿った生物多様性の保全と持続可能な利用につながる取り組みを募集・表彰し、県民による生物多様性保全の取り組みを促進することを目的に、「令和5年度 ふるさとのいのちをつなぐ 生物多様性こうちプラン大賞」を開催しました。

- ◇募集期間 令和5年10月1日(日)～11月15日(水)
- ◇応募対象者 高知県内で生物多様性の保全と持続可能な利用に資する取り組みを行う個人、団体、学校、事業者、市町村およびこれらの協働体。
- ◇対象とする取り組み
 - (1) 知る・広める 生物多様性の価値を知り社会全体で共有する取り組み
 - (2) つなげる 生物多様性を次世代につなぐ仕組みと基盤をつくる取り組み
 - (3) 守る 自然環境の保全と回復を図る取り組み
 - (4) 活かす 生物多様性の恵みを活かした地域産業の持続と活性化の取り組み
- ◇表彰の種類(知事表彰)
 - (1) 大賞 4組 : 賞状及び副賞3万円(又は相当品)
 - (2) 奨励賞 1組 : 賞状及び記念品

① 選考委員会の開催

有識者6名からなる選考委員会を設置し、選考要領、募集要項等の策定、表彰の対象となる取り組みの選考を行いました。

■ふるさとのいのちをつなぐ こうちプラン大賞 選考委員

- 石川 慎吾 (高知大学名誉教授)
- 岩内 史子 (生活協同組合 コープ自然派しこく 理事)
- 川崎 弘佳 (高知大学教育学部 非常勤講師)
- 新名 阿津子 (高知大学教育研究部 人文社会科学部人文科学コース
歴史・地理学プログラム 講師)
- 松井 宣夫 (高知県林業振興・環境部 自然共生課長)
- 野並 良寛 (株式会社クリケット 代表、「季刊高知」編集長)

■選考委員会

令和5年12月2日(土)

② 応募受付

- ◇応募方法 ホームページの応募フォーム、または所定の応募用紙に必要事項を記入し、メールかFAX、郵便で事務局へ送付又は持参
- ◇受付期間 令和5年10月1日(日)～11月15日(水)
- ◇応募数 10件

③ 交流・表彰イベント「生物多様性こうちプラン大賞交流会」の開催

応募者がそれぞれの取り組みをまとめたポスター等を展示し、他の応募者等とコミュニケーションを取りながら活動内容を伝え合う交流会を行いました。交流会に参加した全応募者の中から、選考委員により大賞4組、奨励賞1組を選考しました。

また、広く県民の来場を促し、生物多様性の保全活動の普及啓発の機会とするため、魚類研究者で高知大学理工学部の饗場空璃さんによるトークショーを同時開催し、高知県内で行われている魚類研究の最新の成果等について聞き、交流しました。



日 時：令和5年12月2日(土) 11:00～16:00

会 場：高知市文化プラザかるぽーと 11階大講義室
(高知市九反田2-1)

来場者数：70名

プログラム：

- ・トークショー『魚を探して獲って研究する』
出演：饗場空璃（魚類研究者・高知大学理工学部生物科学科1年生）
- ・ポスター発表交流会
- ・選考結果発表・表彰式
- ・発表団体：10団体



④ 選考結果発表・表彰

以下の受賞者に賞状および副賞、記念品を授与しました。

[大賞] (4組)

「生物多様性こうち戦略」が目指す、生物多様性の保全と持続可能な利用に資する優れた取り組み。

◇広めたで賞

『ぼうさい植物しっちょう?』 日本防災植物協会 (四万十市)

◇つなげたで賞

『神池 里山がっこう』 香美市役所定住推進課 (香美市)

◇活かせるで賞

『里山保全で持続可能なまちづくり～こども・わかものの躍進～』
久重 youth (高知市)

◇つなげたで賞

『水と森は、ひとつに「一般財団法人もりとみず基金」の設立』
土佐町 (土佐町)

[奨励賞] (1組)

生物多様性の保全と持続可能な利用に資する今後の発展が期待される取り組み。

『-高知の豊かな自然環境を楽しみ、学び、伝える-高知大学同好会いきものや』
いきものや (高知市)

2) 観光ガイドのための生物多様性講座

県内の観光ガイドや観光ボランティア団体等へ生物多様性に関する専門家を派遣し、生物多様性保全と地域の自然資源の持続的な活用について学ぶ講座を開催しました。

① 土佐清水地区ジオパークジオガイド

足摺宇和海国立公園土佐清水地区におけるフェノロジーカレンダーづくり

足摺宇和海国立公園土佐清水地区で、日頃からその自然を観光客に紹介しているジオガイドを対象に、生物多様性を通じた視点での地域資源の再発見、共有を行い、それらをもとに、地区の自然と人の営みを網羅した生活季節暦（フェノロジーカレンダー）を作成し、同地区を訪れる人にその魅力を伝えるツールとして活用をしていくことを目指したワークショップを行いました。

日 時：令和5年9月6日(水) 13:00～16:15

場 所：竜串ビジターセンターうみのわ（土佐清水市三崎）

受講者：11名

講 師：岩瀬文人氏（高知生物多様性ネットワーク 代表）

講座内容：

- ・座学「生物多様性のキホン」
- ・ワークショップ「生活季節暦づくり」



3) 普及啓発キット（パネル・資料等）の貸出し

生物多様性こうち戦略推進リーダーの活動支援を目的に、講師としての活動の際やイベント出展時に使用してもらうための普及啓発パネルやグッズ、資料等を揃えています。

■普及啓発キットの内容

- ・生物多様性こうち戦略（概要版）パネル（13枚）、パンフレット
- ・「まもろう高知家自然のなかまたち」リーフレット等
- ・「生物多様性×こうち」缶バッジ、エコバッグ



■活用実績

利用日	場所・イベント等	活用内容
8月6日	環境学習会「自然観察ノートのかき方」 (講師：日本ネイチャージャーナルクラブ 小林絵里子)	こうち戦略パンフレット、エコバッグ、缶バッジ等の配布
9月23日	仁淀川こども祭&日高めだかフェスティバル	
11月3日 11月4日	鏡川緑地公園イベント	
11月19日	高知「環境絵日記」表彰式	
12月2日	生物多様性こうちプラン大賞交流会	
12月10日	こうち環境フェア (パネル貸出 出展者：高知生物多様性ネットワーク)	
12月16日	生物多様性こうち戦略推進リーダースキルアップ講座 (実践編)	

6 環境活動団体の支援

1) 助成金情報の提供

メールマガジン「えこらぼだより」を通して、助成金や補助金募集に関する情報を提供しました。また、環境活動団体や生物多様性こうち戦略推進リーダー等を対象に、それぞれの活動内容に合った助成金等を個別に紹介したり、申請書の書き方についての助言を行ったりするなど、環境活動団体の外部資金獲得のための支援を行いました。

■メールマガジン「えこらぼだより」

助成金情報の提供 58件

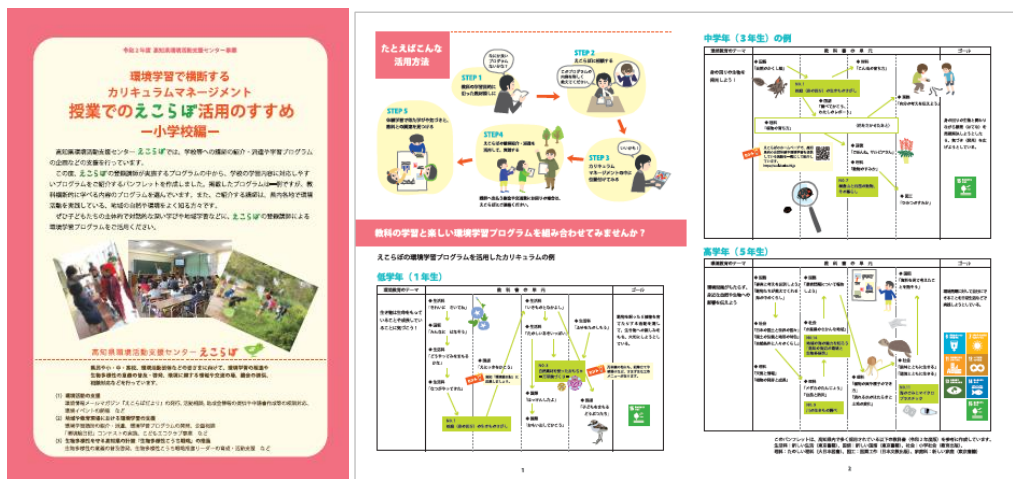
7 その他、環境保全や環境学習、県民・環境団体の環境活動の支援に資する業務

1) 環境学習プログラムリストの作成・活用

学校の授業における環境学習機会の提供を促進するため、現場の教員の方々の協力を得て、学校教員向けの環境学習プログラムリストを作成し、これを活用した授業の企画実施に取り組んでいます。

① 小学校向け環境学習プログラムリスト「環境学習で横断するカリキュラムマネジメント 授業でのえこらぼ活用のすすめ ー小学校編ー」の活用

令和2年度に作成した環境学習パンフレットが活用され、今年度は県内9の小学校等で延べ23回の授業が実施されました。



② 中学校および高等学校向けプログラムリストの作成・配布

中学校および高等学校向けのプログラムリストは、地域や社会の課題に対する探究的な学びに対応したプログラムや専門的知識及び実践経験のある講師を紹介するとともに、講師紹介・派遣事業の利用方法を掲載した資料を作成・配布し、外部講師による環境学習の実施へのきっかけづくりを目指すこととしました。

配布先：高知県内の中学校・高等学校、高知県及び市町村教育委員会等

探究学習の課題発見やフィールドワークなどに活用ください

講師を紹介・派遣します

無料

高知県環境活動支援センターえこらぼでは、今年も環境学習や地域活動に詳しい有識者を講師として紹介・派遣します。学習プログラムを企画する方々の課題や学習テーマに合わせて、ご希望の分野、テーマから講師の紹介や派遣のサポートを行います。お気軽に、お申し込みください。詳しくは下記をご覧ください。

地球環境化	・SDGsの解説と実践 ・SDGsの目標別解説 ・地球温暖化と気候変動 ・SDGsの目標別解説と実践
持続可能な社会	・SDGsの目標別解説 ・SDGsの目標別解説と実践 ・SDGsの目標別解説と実践
自然との共生	・自然環境の保全 ・自然環境の保全と実践 ・自然環境の保全と実践
地域の環境課題に 対する取組	・地域の環境課題 ・地域の環境課題と実践 ・地域の環境課題と実践

上記のほかにも、ご依頼に応じてさまざまな分野の講師をご紹介します。

探究学習講師データベース <http://ecolabo-kochi.jp/medadata.html>

えこらぼの環境学習講師紹介・派遣 ご利用手順

- 学習の計画を立てる
- えこらぼに相談する
- 講師と打合せ
- 講師派遣の届出
- 学習会の実施

よくあるご質問

- Q. 申し込みの時期はいつ頃ですか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？

お申し込み・お問い合わせ

高知県環境活動支援センターえこらぼ
TEL: 088-802-7765 FAX: 088-802-2205
e-mail: center@ecolabo-kochi.jp HP: http://ecolabo-kochi.jp

③ 社会人向けプログラムリストの作成・配布

社会人向けには、公民館やコミュニティーセンター等における生涯学習や、地域活動におすすめの学習テーマの例や、えこらぼの講師紹介・派遣の利用方法等をまとめた資料を作成し、生涯学習担当者への情報提供としました。

配布先：高知県内の公民館、コミュニティーセンター、集落活動支援センター、高知県及び市町村教育委員会生涯学習課等 計 85 力所

生涯学習や地域活動に 講師を紹介・派遣します

高知県環境活動支援センターえこらぼ

無料

高知県環境活動支援センターえこらぼでは、市民の方々からのご依頼に応じて、環境学習の講師を紹介・派遣いたします。

ご依頼の分野、テーマから講師の紹介や派遣のサポートを行います。お気軽に、お申し込みください。詳しくは下記をご覧ください。

毎日の生活から考える 環境問題	手作りワークショップ
・地球温暖化対策 ・水環境・SDGs ・海洋プラスチック ・廃物の削減と資源の活用	・木のすばらしさ ・木のペンダント、箱、草紙 ・薪炭(バグ) コップ、箸、箸入れ ・リース、クラフト
自然環境から学ぶ	地域の環境課題に 対する取組
・フィールドワーク ・自然環境の保全 ・自然環境の保全と実践	・地域の環境課題 ・地域の環境課題と実践 ・地域の環境課題と実践

ご利用方法は裏面にのっています

えこらぼの環境学習講師紹介・派遣 ご利用手順

- 学習の計画を立てる
- えこらぼに相談する
- 講師と打合せ
- 講師派遣の届出
- 学習会の実施

よくあるご質問

- Q. 申し込みの時期はいつ頃ですか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？
- Q. 講師の派遣はどのような流れで行われますか？

お申し込み・お問い合わせ

高知県環境活動支援センターえこらぼ
TEL: 088-802-7765 FAX: 088-802-2205
e-mail: center@ecolabo-kochi.jp HP: http://ecolabo-kochi.jp

2) 環境にやさしい行動への変容を促すリーフレットの作成と配布

高知県がめざす、地球温暖化対策が進んだ脱炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の3つの社会づくりに向け、県民一人ひとりの行動変容を促すことを目的としたポケット版リーフレット「まもろうこうちの環境」を、えこらぼが実施するイベントや環境学習の参加者等に配布しました。



8 PR 活動

1) PR ツールの活用

えこらぼの認知度・存在感の向上を図るため、パンフレットよりも気軽に受け取ってもらえる PR ツールとして、えこらぼの連絡先や URL、事業案内を記した名刺大のカードをイベントや環境学習の参加者に配布しています。



2) 報道機関への情報提供

センターが行うイベント等の実施に際しては、事前の報道機関への情報提供や後援申請を確実にを行い、取材や情報発信を要請しました。

■報道実績

媒体	日付	内容
ラジオ	RKC 高知放送	11/20 高知「環境絵日記」入賞作品展
		11/27 生物多様性こうちプラン大賞交流会
		3/4 環境活動見本市 in 黒潮町
新聞	高知新聞	11月 生物多様性こうちプラン大賞交流会
		3月 環境活動見本市 in 黒潮町
雑誌	季刊高知	9/25 生物多様性こうちプラン大賞

9 センターの運営

1) センターの開館日及び開館時間

月曜日 10:00～17:00 火～金曜日 10:00～18:00
休館日 土曜日、日曜日、国民の祝日・休日、第2水曜日、
年末年始（12月29日～1月3日）、
その他イベントの実施等に伴う臨時休館日（HP等で事前に告知）

2) 運営委員会の組織・運営

有識者等で構成する運営委員会を設置・開催し、センター事業への助言を得ました。

■令和5年度高知県環境活動支援センター業務外部運営委員 名簿（敬称略）

	団体名	役職	氏名
委員長	高知大学教育研究部 総合科学系	教授	飯國 芳明
委員	公益財団法人四万十川財団	事務局長	神田 修
	ゆすはら産業担い手実践塾	副塾長	笹岡 高志
	高知市立浦戸小学校	校長	藤田 由紀子
	高知県林業振興・環境部	副部長	西村 光寿
	特定非営利活動法人環境の杜こうち	副理事長	西尾 健一

■第1回運営委員会

令和5年5月25日（木）13:30～15:00

■第2回運営委員会

令和6年2月14日（水）10:10～12:00

3) 高知県との定期連絡会の開催

業務内容や運営方法等について、県所管課と協議する連絡会を行いました。

■第1回 4月 7日（金）

■第2回 7月 10日（月）

■第3回 10月 11日（水）

■第4回 1月 11日（木）

高知県環境活動支援センターえこらぼ
令和5年度の取り組み

発行日	令和6年3月
発行	高知県環境活動支援センターえこらぼ (令和5年度高知県環境活動支援センター事業)
所在地	〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目 115 番地 こうち男女共同参画センター3階
電話	088-802-7765
F A X	088-802-2205
E-mail	center@ecolabo-kochi.jp
ホームページ	http://ecolabo-kochi.jp/
利用時間	月曜日 10:00~17:00 火~金曜日 10:00~18:00 ※土曜日、日曜日、祝日、第2水曜日休み
管理運営団体	特定非営利活動法人 環境の杜こうち